



白い外壁の南面に黒を効かせた佐藤邸。張り出したフレームが軒の役目を果たす。



上/家族が集うLDKは明るい室内空間にするために、天井や壁をはじめ内装に「白」を取り入れることにこだわったそう。窓の位置や形状もプライバシーを考慮した設計に。

左/ご主人の実家の隣に建てたマイホーム。ダークネイビーの外壁とシャープなラインを描く片流れの屋根が、シックな印象の外観。明るい室内とのギャップは「狙い通り」なのだとか。

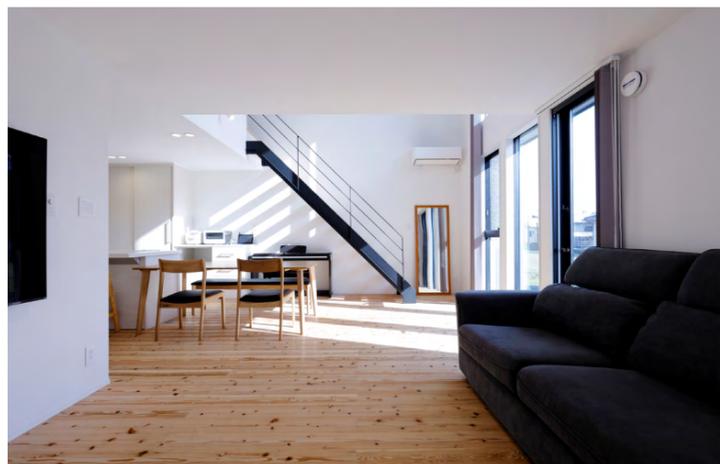
日田市 M邸



右上/アイランドキッチンからダイニングへ一直線に続く動線。横には子どもたちと並んで学習や家事ができる長いカウンターを配置。

右下/吹き抜けのスリット窓から1階全体に光と風が届く。高気密・高断熱・高耐震構造のスーパーウォール工法が大きな空間を実現している。

日田市 佐藤邸



玄関土間からLDKへ。仕切りのないオープンな空間に目を奪われる。



右/玄関ホールを抜けると、足裏に心地よい浮遊りのフローリングがふんだんに使用されたLDKへ。階段手前には畳スペースも配置されている。
中/2階の通路奥には、ご主人の本棚兼収納棚としても活用されるユニークな階段を設置。ロフトへ繋がる。
左/玄関ホールに上着や荷物が置ける収納を設置したのは、部屋をスッキリさせるための工夫のひとつ。

DKでくつろぐご夫婦と2階で遊ぶ姉妹。吹き抜けが家族をつなぐ。

ご主人がのんびりくつろぐ横で、妖精ごっこに興じる可愛らしい子どもたち。「余力があれば、また天領木さんと家づくりをしたいくらい楽しかった」という奥様の言葉が、家づくりの成功を物語っています。

分譲地に立つボックス型のツートンが洗練されたイメージの佐藤邸。玄関を開けると、奥へ伸びる長い土間とともに間仕切りのないオープンなLDKが目飛び込んできます。大きな空間の中で印象的なのは、吹き抜けとオープン階段とアイランドキッチン。1階から2階まで日田杉の浮つくりのフローリングが広がり、足下から木の温もりが伝わってきます。

家族の絆を深める 無駄のない開放空間

「夏は涼しく、冬は朝と夜にエアコンを入れるだけで快適です」と話すご夫婦。お二人で美容院を経営する多忙な中、住宅展示場巡りをしたものの決め手がなく、再度相談したのが天領木でした。「自由度があって「ストパフォーマン」のいい家づくり」に魅力を感じ、「TREETIO」から最新の「VALO」を選択。基本の間取りに、ひと部屋増やしたアレンジを加えています。2階のホールには、物作りと絵本が好きな子どもたちのために基地のような「フリースペース」を配置。1階のくつろぎ空間には、いつも子どもたちの歓声が響き渡ります。

今年、第二子が誕生予定のMさんご一家。自然素材の心地良さと遊び心あふれるマイホームが、子どもたちの豊かな感性を育ててくれそうです。

ともに自然が大好きというMさんご夫妻。漆喰壁や手すき和紙の天井、日田杉を使った浮つくりのフローリングなど、自然素材がふんだんに使われている「天領木」の住宅を見学して、「イメージしている家にとったり」と感じたそうです。ご主人自ら間取りを書いて「天領木」に提出。アドバイスをもらい、修正、この作業を繰り返して、こだわりが詰まったマイホームが完成しました。

自然素材のやさしさに 自由な遊び心をプラス

白を基調に日田杉の温もりがあふれる1階のLDKは、窓から陽光が降り注ぐナチュラルな空間。カウンターキッチンからリビングに続く和室まで見渡せ、奥様は4歳のお子様がお遊ばせを見守りながら安心して家事ができています。2階に上がると、廊下奥にはご主人の本棚兼収納棚が。実はこの棚、ロフトへつながる階段にもなっています。子どもが秘密基地のようにして遊べるスペースになれば」とご主人。ほかにも、ご夫婦の寝室と子ども部屋2室の壁紙を変えたり、物置部屋を設けたりと、楽しく、すっきり住まうための工夫が随所に散りばめられています。